

2019年度 職員自己評価結果総括

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

【I-1 理念・基本方針】

理念、基本方針が確立・周知されている。

		自己評価結果
I-1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	保1	a b c 10 15 1
着眼点	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人（保育所）内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人（保育所）が実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた法人（保育所）の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。	
<判断した理由・特記事項等> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配布はされているが、周知、理解されているかは分からない ・ 自分自身が理解していない ・ 確立はされているが、周知に課題が残る(自分自身の課題として) ・ 園内研修を経て、職員間での理解・周知が進められた ・ 保護者の周知度は不明 ・ 配布された書面を細かく理解はしていない ・ 職員間で理念の確認は行われていない ・ 確立はされているが、周知しているとは言い難い。しかし、保育園としての方向性の共通認識はあると思うので、文章化されている内容を照らし合わせて、具体的に実感し共有し理解を深めていけると良い 		

【I-2 経営状況の把握】

経営環境の変化等に適切に対応している。

		自己評価結果
I-2-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	保2	a b c 7 11 4
着眼点	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・利用者（子ども・保護者）像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人（保育所）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。	
<判断した理由・特記事項等> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身が理解していない ・ 自分自身の関わりが少ない ・ 報告等はあるが理解していない ・ 各会議等において報告・協議が行われている ・ 勤務年数が短く理解しきれてない 		

		自己評価結果
I-2-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	保3	a b c 16 9 1
着眼点	<input type="checkbox"/> 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身が把握していない ・ 経営状況や課題等を職員全体で話し合っている ・ 周知・理解が必要な事柄については、各会議等において報告・話し合いがされている。 ・ 調理員のため関わりが少ない 		

【I-3 事業計画の策定】

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

		自己評価結果
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		保4 a . b . c 10 . 8 . 3
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・自分自身が理解できていない ・計画は立てられているが、自分自身の見直しできていない ・研修等で伝達されている ・長期計画としては明確ではないが、問題点や課題は常に話し合いがなされている ・園内研修や各会議等を通じて、現状の把握や具体的な取り組みの確認をしたり、課題 目標を明確にして園全体で取り組む体制づくりを行っている ・課題に対する取り組みはまだ入り口だが、今後十分進めていけると思う		

		自己評価結果
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		保5 a . b . c 14 . 9 . 2
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
<判断した理由・特記事項等> ・園として考えられているが、自分自身が把握できていない ・計画は作成されているが、十分に目を通していない(頭に入っていない) ・子どもを取り巻く状況を常に関心を持って理解に努め、一人ひとりの子どもの生活や、成長に望ましい内容を考察している		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。

		自己評価結果
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		保6 a . b . c 16 . 8 . 2
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）されており、理解を促すための取組を行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・どのように策定されたか分からない ・取り組みはあるが、周知されているかは分からない ・自分自身が理解できていない ・会議等で話し合いがされ、次の活動に生かせるように意見が出されている ・各定期会議において、報告・評価・見直し・承認が行われている		

		自己評価結果
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。		保7 a . b . c 17 . 8 . 1
着眼点	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知（配付、掲示、説明等）されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・保護者会で説明はあるが、周知されているかは分からない ・周知を図っているが、達成度は分からない ・職員間で周知されているが、保護者向けの掲示がない ・保育案の貼り出しもあり、周知されている ・保護者会の話し合いもされている ・勤務して間がないためわからない		

【I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組】

質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

		自己評価結果
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		保8 a . b . c 9 . 16 . 1
着眼点	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 保育の内容について組織的に評価（C: Check）を行う体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。	
<判断した理由・特記事項等> ・第三者評価を初めて受けるので分からない ・自己評価は行っており、日々PDCAサイクルを意識している ・第三者評価についてはこれからとなるが、組織としての取り組みは各会議や日常の保育の中で実施されている		

		自己評価結果
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		保9 a . b . c 4 . 6 . 3
着眼点	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・これから取り組むことである ・第三者評価を行うのが初めてのため ・まだ評価を受けてないので ・今回の評価結果を経て、取り組むべき課題を考察していくことが望ましいと思う		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

【Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ】

Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。

		自己評価結果
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		保10 a . b . c 22 . 4 . 0
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事（災害、事故等）における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 広報誌等には掲載されていないが、役割は明確になっているため ・ 職員間で共有されているし、役割分担を廊下に掲示されたりと、取り組まれているため ・ 職務分掌等についての周知が出来ていないと感じたため ・ 権限委任等は明確化され、誰でも見られる場所に貼ってある。 ・ 来園された方々に、園の方針をしっかりと伝えている姿が見られる		

		自己評価結果
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		保11 a . b . c 25 . 1 . 0
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 幅広く把握していただいて、取り組まれている ・ 積極的に研修や勉強会に参加していただき、学んでいただいた事を、しっかりと会議や研修会で職員全員に周知されている ・ 研修会などにも積極的に参加していただいている		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

		自己評価結果
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。		保12 a . b . c 26 . 0 . 0
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 各クラスの現状把握をしっかりとしてくれており、職員とのコミュニケーションで問題解決に取り組んでくれている ・ 職員の意見を反映するための具体的な取り組みがあると更にはいいと感じる ・ 保育の質の向上のため、園内研修を行っている ・ 施設長は常日頃から、保育職員に関心を持ち、積極的に理解・参画に臨んでいる ・ 保育への取り組みや、書類に関してなど、的確にアドバイスを頂いている		

		自己評価結果
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。		保13 a . b . c 26 . 0 . 0
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
<判断した理由・特記事項等> ・朝の業務等で、職員配置を的確に指示してくれている ・職員の性格や個性を理解したうえで、働きやすい環境整備がしっかりなされている ・組織の運営管理について、総合的に経営・職員のことをしっかり考えてもらっていると思う ・働きやすい環境作りをして頂いている		

【Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成】

Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

		自己評価結果
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		保14 a . b . c 16 . 8 . 1
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	
	<input type="checkbox"/> 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 法人（保育所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。	
<判断した理由・特記事項等> ・人材育成には十分だが、人材確保の面では人手が見つからず、不十分である ・大学等に求人情報の掲載はされており、人材確保、定着に関する計画を園としては考えられているが、自分がかかっていない ・キャリアアップ研修に参加したり、地元大学での積極的な実習受け入れや、新卒採用をしているから ・計画に基づいた人材の確保や育成、人員体制があると良い ・看護師がいるととっても良いと思う		

		自己評価結果
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。		保15 a . b . c 10 . 12 . 3
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 法人（保育所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	
	<input type="checkbox"/> 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。	
<判断した理由・特記事項等> ・期待する職員像が明確であると目指すことができるため ・職員一人ひとりを理解して配置されていると思う ・昇進、昇格、処遇改善の見直しを行っているところだから ・期待する職員像や人事基準の周知が出来ると良いと感じた ・されていると思うがわからない		

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

		自己評価結果
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	保16	a . b . c 20 . 3 . 3
着眼点	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。		
<判断した理由・特記事項等> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働きやすい職場とはなっているが、取り組み内容は分からない (20代職員) ・ 給与明細をもらっていて、そこに書いてもらっているから ・ 残業がなく、定時に帰宅することができ、休暇もきちんと取ることができるが、自分自身が理解できていないため (新人) ・ のびのび働きやすい環境だと思っているから ・ 就労状況に配慮がなされていると思うが、個人個人が抱える悩みについて相談しやすいような工夫、それに向けた取り組みがあると更に良い (臨時職員) ・ 一人ひとりの職員の背景をくみ取り、考えてくれている ・ 先輩たちが話しやすい、相談しやすい環境を作ってくれている ・ 職員一人ひとりと話をする機会を設けていただき、働きやすい環境を作るなどの配慮をして頂いている a ・ わからない (給食) ・ 上司に悩みを相談しやすい 		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

		自己評価結果
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	保17	a . b . c 6 . 14 . 6
着眼点	<input type="checkbox"/> 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。		
<判断した理由・特記事項等> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年目なので分からない ・ 個別面接はあるが確認などが無い ・ 自分が出来ていない ・ 期待する職員像が明確でない (新人) ・ 入ったばかりで分かりません ・ 期待する像が明確にされていない ・ 職員一人ひとりの目標設定については、面接がないため確認が出来ていないと感じた (臨時職員) ・ 個人的な目標がしっかりと自分の中で立てられておらず、達成度の確認がおろそかになっていた (自分が) 		

		自己評価結果
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	保18	a . b . c 14 . 11 . 1
着眼点	<input type="checkbox"/> 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。		
<判断した理由・特記事項等> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年目なので分からない ・ 私自身把握できていない ・ 研修に行かせていただいている ・ 職員会議でしっかり話している ・ 積極的に研修に参加させてもらっているから 		

		自己評価結果
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		保19 a . b . c 21 . 5 . 0
着眼点	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	
<判断した理由・特記事項等> ・他の職員の取得状況は分からない ・一人ひとりに適した研修に参加できている ・十分に行われている・研修を積極的にすすめている ・職員一人ひとりがもっと均等に研修の場に参加できるといい（臨時職員） ・ミーティングや園内研修を定期的に行い、話し合いをしている ・研修会にも参加 ・わからない		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

		自己評価結果
II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		保20 a . b . c 13 . 11 . 1
着眼点	<input type="checkbox"/> 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明記している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・実習生に挑戦する機会を与えている ・育成はきちんとされているが、マニュアルは分からない ・学校側との連携の工夫をどのようにしているか知らない ・しっかり行われている ・積極的に実習生を受け入れているが、マニュアルの整備や指導者に対する研修が行っていない ・実習日誌の活用、部分実習などで実践経験を積む機会を設ける ・丁寧に指導をしている ・実習生の受け入れはたくさんしているが、わからない		

【II-3 運営の透明性の確保】

II-3 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

		自己評価結果
II-3-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		保21 a . b . c 7 . 11 . 2
着眼点	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談体制や内容について公表している。	
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。	
	<input type="checkbox"/> 法人（保育所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人（保育所）の存在意義や役割を明確にするよう努めている。	
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	
<判断した理由・特記事項等> ・これから第三者評価に取り組んでいく ・今から受けるところだから ・取り組んでいる段階 ・理念や基本方針はHPで公開しているから		

		自己評価結果
II-3-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保22	a . b . c 11 . 11 . 2
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等について、内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	
	<input type="checkbox"/> 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 事務や経理のルールを私自身理解できていない ・ 監査がある ・ 職員まで周知されていない ・ 自分が携わっていないので分からない ・ 外部の福祉会計士指導のもと運営しているから ・ 上記の内容は分からないので評価できない ・ 経営は、現場サイドにはわからない ・ わからない		

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

		自己評価結果
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	保23	a . b . c 16 . 10 . 1
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
	<input type="checkbox"/> 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示版の利用等で保護者に提供している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 地域の方々を夏祭りに招待しているが、ニーズに応じた社会資源を私自身が理解できていない ・ お年寄りとの交流の機会がある ・ 積極的に地域交流している ・ 夏祭りに招いたりしているが、地域の行事に参加できていない ・ 老人ホーム訪問や幼稚園、小学校との交流、夏祭りや運動会でも地域の方々へのお知らせをしている ・ わからない		

		自己評価結果
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	保24	a . b . c 13 . 10 . 2
着 眼 点	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ ボランティアに対するマニュアルを知らない ・ 職場体験やボランティアを受け入れている ・ 明文化、研修までは分からない ・ ボランティアの受け入れはしているが、基本姿勢の明文化やマニュアルの整備はしているか把握はしていない ・ 中学、高校生の体験学習や、ボランティアの受け入れをしている		

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

		自己評価結果
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	保25	a . b . c 14 . 7 . 3
着眼点	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会へ参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。	
<判断した理由・特記事項等> ・必要な社会資源や関係機関との連携について、自分が把握できていないため(2人) ・職員同士では情報共有されている ・社会資源がどのように活用されているのか知らない ・関係機関に関し、情報の共有化が出来ていない部分があると感じた		

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

		自己評価結果
II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	保26	a . b . c 7 . 17 . 2
着眼点	<input type="checkbox"/> 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 災害時の地域における役割等について確認がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。	
<判断した理由・特記事項等> ・災害時の地域との連携の仕方を自分が把握できていない ・どのような取り組みがされているのか分からない ・園庭解放DAYもあれば良いのかなと思う ・地域と連携して支援活動をもっと取り入れると良いと感じた		

		自己評価結果
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	保27	a . b . c 7 . 13 . 4
着眼点	<input type="checkbox"/> 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
<判断した理由・特記事項等> ・福祉のニーズについて自分が把握していない ・どのような会議や活動が行われているか把握できていない ・同法人の老人ホームに訪問し、相互の特性を活かした交流を行っている ・わからない		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

		自己評価結果
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	保28	a . b . c 19 . 6 . 0
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践する取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・先入観を持たずに子供一人ひとりにあった対応をしている ・常に保育士一人ひとりが意識して保育を行っている ・自分では把握しているつもりだが、自分の行動が正解なのか自信がない ・倫理綱領や規定がどのようなものなのか自分にはわからない ・人権に関する勉強会、研修会があると更に良い ・命の尊さなど、園だよりの中でも紹介され、仏教に基づいた人権への配慮もしっかりなされていると思う		

		自己評価結果
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	保29	a . b . c 12 . 13 . 1
着 眼 点	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。	
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいた保育が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。	
<判断した理由・特記事項等> ・マニュアルがわからない ・プライバシーには気を付けているが、マニュアルを理解していない ・明示されているか分からない ・自分の行動が正しいのか自信がない ・マニュアルや対処方法などがあるのか定かではない ・職員や保護者に理解が図られる取り組みがあると更に良い		

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

		自己評価結果
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	保30	a . b . c 24 . 2 . 0
着	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。	
眼	<input type="checkbox"/> 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	
点	<input type="checkbox"/> 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	
	<input type="checkbox"/> 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	
<判断した理由・特記事項等> ・ ホームページで誰でも見ることができる ・ 入所説明を行っている ・ 保育内容等、詳しく保護者に伝えられている ・ ホームページなどで保育所選択に必要な情報を積極的に提供している ・ 施設見学なども受け入れ、パンフレットなども配布している		

		自己評価結果
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保31	a . b . c 23 . 3 . 0
着	<input type="checkbox"/> 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。	
眼	<input type="checkbox"/> 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	
点	<input type="checkbox"/> 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 配慮が必要な保護者への説明に対するルールを自分が理解できていない ・ 資料、書面で残しているか分からない ・ 保護者会などで行っていただいている ・ 書面やどのような説明が行われているのかは分からない ・ 配慮が必要な保護者に対してのルール化がないと感じた ・ 保護者にその都度、なんらかの方法（書面での配布）で伝える ・ 書面で伝えた上で、直接話をし、協力を頂いている		

		自己評価結果
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保32	a . b . c 15 . 8 . 1
着	<input type="checkbox"/> 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
眼	<input type="checkbox"/> 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	
点	<input type="checkbox"/> 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 相談できる窓口はあると思うが、そのことについて自分が把握できていない ・ 担当者や、窓口があるのか分からない ・ 就学相談などの場を作ってもらっている ・ 保育所の利用が終了しても、行事に来てもらえるよう誘ったり、雰囲気作りを行っている ・ いつでも相談ができるようになされていると思う ・ 窓口の設置についてはあまり詳しくないが、ポスターに連絡先を記して発信している		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上向上に努めている。

		自己評価結果
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	保33	a . b . c 6 . 14 . 6
着	<input type="checkbox"/> 日々の保育のなかで、子どもの満足把握するように努めている。	
眼	<input type="checkbox"/> 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。	
点	<input type="checkbox"/> 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足把握を目的で定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員等が、利用者満足把握を目的で、保護者会等に出席している。	
	<input type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 自分自身が出来ていない		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

		自己評価結果
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	保34	a . b . c 9 . 14 . 3
着	<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。	
点	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、保育の質の上向上に関わる取組が行われている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 体制が整っていると思うが、自分はできていない		

		自己評価結果
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	保35	a . b . c 11 . 10 . 5
着	<input type="checkbox"/> 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
眼	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
点	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 自分が把握していない ・ 相談や意見を述べやすい環境ではないもっと気軽に相談できる場にするための工夫が必要 ・ 個別で話す部屋もあり安心して相談できると思う		

		自己評価結果
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		保36 a . b . c 8 . 15 . 2
着	□相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
眼	□対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	
点	□職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	
	□意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。	
	□職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	
	□意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。	
<判断した理由・特記事項等> ・自分がまだ努力中		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

		自己評価結果
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		保37 a . b . c 17 . 7 . 2
着	□リスクマネジメントに関する責任者の明確化（リスクマネジャーの選任・設置）、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を構築している。	
眼	□事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。	
点	□子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	□収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
	□職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	
	□事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	
<判断した理由・特記事項等> ・事例に沿ったプリントがあり、訓練に取り入れている		

		自己評価結果
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		保38 a . b . c 20 . 5 . 1
着	□感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
眼	□感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	
点	□担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
	□感染症の予防策が適切に講じられている。	
	□感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。	
	□感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	
	□保護者への情報提供が適切になされている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ホワイトボードで知らせている		

		自己評価結果
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	保39	a . b . c 24 . 1 . 1
着	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	
眼	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。	
点	<input type="checkbox"/> 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 災害マップがあり、避難訓練もしている		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

		自己評価結果
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	保40	a . b . c 15 . 9 . 1
着	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	
眼	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	
点	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 自分の把握が不十分 (・ 標準的の意味が分からない)		

		自己評価結果
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保41	a . b . c 17 . 5 . 1
着	<input type="checkbox"/> 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	
眼	<input type="checkbox"/> 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。	
点	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 就職して1年目なので分からない ・ 内容が理解できない ・ 標準的な実施方法についての見直しの仕組みが私自身あまりわかっていない ・ 検証見直しはしっかり行われていると思うが、自分自身の認識がしっかり出来ていない ・ 標準的という意味が分からない ・ 会議やミーティングで話し合っている		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

		自己評価結果
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。		保42 a . b . c 13 . 7 . 2
着	<input type="checkbox"/> 指導計画策定の責任者を設置している。	
眼	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
点	<input type="checkbox"/> さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。	
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 就職して1年目なので分からない ・ 自分が出来ているか自信がない ・ アセスメント等の協議がどのように行われているか、私自身分からない ・ しっかりされています ・ 保護者会や、様々な職種の関係職員、関係者を交えて保育及び行事等の協議、協働がなされている ・ ミーティングや会議を通して、情報の交換や共有をるようにしている		

		自己評価結果
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。		保43 a . b . c 15 . 6 . 3
着	<input type="checkbox"/> 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
眼	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
点	<input type="checkbox"/> 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	
	<input type="checkbox"/> 評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 就職して1年目なので分からない ・ 自分が生かしているか分からない ・ 検討会議に参加したことがなく、どのように見直しが行われているか私自身知らない ・ 前年度、指導計画を見直した ・ 指導計画の評価、見直しの仕組みがあると良いと感じたため ・ 保護者会との協働が十分に保育行事に反映されている		

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

		自己評価結果
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。		保44 a . b . c 22 . 4 . 0
着	<input type="checkbox"/> 子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。	
眼	<input type="checkbox"/> 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。	
点	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。	
<判断した理由・特記事項等> ・ 職員同士の情報共有する場が設けられている ・ 皆で様式を考える機会がある ・ 情報共有を目的とした会議や研修はありますが、情報の流れを私自身理解できていないため ・ しっかりされている ・ 児童表に記録、会議などでも共有している ・ 職員により記録内容や、書き方に若干差異があると感じるので統一してほしい ・ 職員間で書類の様式などを話し合う機会を園内研修などで設けている		

		自己評価結果
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。		保45 a . b . c 20 . 3 . 1
着	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	
眼	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	
点	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	
<判断した理由・特記事項等> ・管理体制は整っていると思う ・個人情報の漏えいに対する対応方法を私自身把握できていないため ・記録はきちんと管理されているが、取扱い等についての保護者への説明があるかは知らない ・職員に対して教育、研修は行われていない ・個人情報の件は、懇談会やプリントで伝えられている		

評価対象Ⅳ 三重独自基準

Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。

		自己評価結果
Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。		保46 a . b . c 8 . 5 . 8
	<input type="checkbox"/> 高齢者等の地域の子育て経験者と職員との定期的な懇談会等を通じて、その経験を活かした保育についての考え方や意見等を、業務に役立てている。	
<判断した理由・特記事項等> ・あるかどうかわからない ・内容が難しい ・老人ホームの訪問などは行っているが、地域の子育て経験者との懇談会が行われているかは私は分からない ・定期的に地域の高齢者に来園していただき、詩吟などを教えてもらい、子ども達が日常では味わえないことを経験させてもらっている ・高齢者施設の行事と連携したり、外部から講師を招いて保育の向上を図っている		

		自己評価結果
Ⅳ-1-② 子どもの安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。		保47 a . b . c 12 . 11 . 1
着	<input type="checkbox"/> 子どもの身体に危険が及ぶような事態が発生しないように、日常から保育所と地域で連携を図り、不審者の情報や、交通危険箇所等の情報について相互に共有している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体に危険が及ぶような状況が発生しているのを見かけたら、すぐ対応してもらうよう、地域住民と連携している。	
点	<input type="checkbox"/> 地元自治会等との情報交換を目的にした会議の開催を、定期的実施している。	
<判断した理由・特記事項等> ・地域交流が盛んなので、協力体制が整っていると思う ・不審者情報等、知らせられる環境がある ・不審者情報の共有などは行っているが、地域住民や地元自治会とどのような連携が行われているかは知らない ・不審者情報などを高田学苑や市と共有している ・不審者情報など、市役所から連絡が入ったり、保護者にも伝えている ・防災マップを作成し、交通危険個所の把握をしている ・在園児に限らず、卒園児の家庭とも園を主軸にした親交を大切にして地域の目を広げている		

		自己評価結果
IV-1-③ 地域の環境保護に貢献している。		保48 a . b . c 16 . 7 . 1
着眼点	<input type="checkbox"/> 保育所として、地域の公園や公共施設等の清掃活動や植栽活動等を積極的に実施し、地域の環境美化に貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 保育所内でも「遊び」を通じるなど工夫して、ごみの分別や、節水等資源の有効活用に努め、子どもに地域の環境保護意識をめばえさせる活動を実施している。	
<判断した理由・特記事項等> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常に保育園は環境美化されている ・ 地域の美化活動には参加できていない ・ 保育の中で分別を行っている ・ 清掃活動は行っていないが、ゴミの分別や節水の話は子どもにしている ・ ままごとなど、生活の中でしっかり伝えられている ・ 地域公園の公共施設の清掃活動はまだできていない ・ 普段から子ども達にゴミの分別、物を大切にすることに伝えながら保育を行っている ・ 地域の環境美化に関する活動ができると良いと感じたため ・ ごみの分別や環境美化に貢献している ・ 普段の保育の中で、トイレトペーパーやティッシュなどの使い方を伝えるようにしている ・ 手洗いの時など、水の出し方を伝えるようにしている ・ 共有部分である駐車場についても整備を心掛けている 		